

平成26年度公益財団法人津南町農業公社の事業報告について

1 事業概要

担い手育成事業については、2名の就農希望者を谷内ファームハイツに受け入れ、一般の農家を研修先として紹介し農業研修を行ってきた。

平成26年4月から経営開始した4名の新規参入者に農地幹旋等支援を行った。引き続き地域の担い手となるよう支援していく必要がある。

農作業支援事業は、地域農業の作業労力の補完のため、水田への堆肥散布等の農作業支援を行ってきた。

農地への堆肥投入が、異常気象に対応する有効な手段であることから作業依頼が増えている状況にある。

農地保全事業は、保全管理地24.0haのうち12.6haにおいて球根養成、加工トマト、アスパラガス、人参(加工用、雪下)、馬鈴薯、生鮮トマト、さつまいもの作付けを行った。

アスパラについては新植事業を活用し1.25haの面積拡大を行った。

特に馬鈴薯やさつまいもの栽培は安定した所得が期待できる新規作物として実証的に栽培を行ってきた。

農地利用集積円滑化事業においては、賃貸借契約が満了を迎えた農地について、農地の効率的利用を図りながら、更新手続きを進め、担い手農家の経営規模拡大を支援してきた。

2 事業実績

事業名	概要
担い手育成事業	2名受け入れ(谷内田、蒲原)
農作業支援事業	水田堆肥散布 13.1ha 畑作堆肥散布 3.5ha 農業者機械利用 (ホイロローダー、マニア等)3件
農地保全事業	作付面積の内訳(前年度実績からの増減) 球根養成 1.30ha (0.04ha 減) 加工トマト 3.55ha (0.08ha 増) 生鮮トマト 5a (1a 減) 春人参 1.0ha (-) 加工人参 1.20ha (0.5ha 減) アスパラガス 4.45ha (1.25ha 増(H26 新植)) 馬鈴薯 0.80ha (0.13ha 増) さつまいも 0.17ha (H26 新規)
農地利用集積円滑化事業	現在の事業実施状況(内面積で表示) 公社受入面積 162.2ha(151.6) 公社貸し付け面積 138.2ha(128.2) 前年実績 5.1ha 増 49 戸 公社保全管理面積 24.0ha(23.4)